

※成績評価（GPA）

[学則（細則）専門課程より抜粋]

8 成績評価（単位認定）について

<筆記試験・実技試験>

(1) 評定について（5段階評価及び単位認定）

①学籍簿に記載する5段階評価については次のように換算する。

学習評価点	100～90	89～80	79～70	69～60	59以下
5段階評価	S	A	B	C	F

その課目の成績評価が「C」以上の時、所定の単位を与える。

(2) GPA（Grade Point Average）

GPAは学生が履修した全科目の成績の平均を数値で表したもので、年度ごとのGPAと入学時から通算の累積GPAの2つのGPAが算出される。本校が導入するGPA計算方法は次による。

①試験得点に応じて5段階（4.0 3.0 2.0 1.0 0）の数値（グレード・ポイント）を設定する。

不合格となった課目のグレード・ポイントは0点となる。

②各履修課目のグレード・ポイントに課目の単位数（30時間＝1単位）をかけた値を全履修課目を合計し、その値を全履修科目の単位数で割ったものがGPAとなる。

【成績評価とGPA】

合否区分	5段階評価	学習評価点	グレード	グレード・ポイント
合格	S	100～90	S	4.0
	A	89～80	A	3.0
	B	79～70	B	2.0
	C	69～60	C	1.0
不合格	F	59以下	F	0

【算出式】

$$\frac{4.0 \times S \text{の修得単位数} + 3.0 \times A \text{の修得単位数} + 2.0 \times B \text{の修得単位数} + 1.0 \times C \text{の修得単位数}}{\text{総履修単位数}}$$

【例】※合計：37単位 グレード・ポイント合計：78

$GPA = 2.10(78 \div 37 = 2.10 \dots \text{小数点第2位を四捨五入する。})$

(3) 再試験での合格は、合格最低点の60点を記載する。

(4) 全ての筆記試験について

①遅刻者は実施時間内であれば残り時間を受験できる。

②答案用紙の氏名欄に姓と名を明記すること。氏名欄が空白、姓、名のみの場合は評価点を0点とする。

③筆記用具については、必ず鉛筆またはシャープペンシルを使用すること。

それ以外の筆記用具を使用した場合は、評価点を0点とする。

④解答用紙の改ざんは0点とする。

⑤不正行為（電子機器類の所持を含む）を発見した場合、直ちに没収し、0点とする。